

2017年度 シラバス情報表示画面

科目コード : 40514 単位数 : 4

科目名	マクロ経済学	科目責任者	小林 孝次
課題と試験担当教員			
履修方法	S スクーリング学習		
ナンバリング	CECON112		

■ 科目概要

本科目は、一国経済が全体としてどのように機能するかについて分析する。まず、経済全体の活動水準をどのように測るのかについて理解するために、国民所得の概念を整理する。そして、一国全体としての経済活動の規模である国民所得、GDPがどのように決定されるのかをケインズ理論を中心に学ぶ。

■ 到達目標

経済理論の基礎を習得し、雑誌、新聞、ラジオ、テレビ等での経済成長、景気変動についての報道、議論、解説を理解する力を身につけることができる。

■ 科目の計画・内容

学習範囲 該当する章など	学習内容
1.はじめに 2. 学習指導書 第4節 3. 学習指導書 第2節	1. ミクロ経済学とマクロ経済学の違いを整理する。 2. 数学復習 学習指導書 第4節 ただし、弾力性は除く 3. ケインズ理論のポイントを概観する
第1章国民所得の 概念 ただし、§1.3は除 く	国民所得の概念を学ぶ。具体的には 1. 国民所得の定義 2. マクロの経済循環 3. 3面等価の原則 4. 消費・投資 5. GDPとGNP 6. 日本のGDPデータ について学ぶ。
第2章国民所得の 決定 §2.1 45度線図 の理論 ただし、 (9) 均衡化メカ ニズムと(10) 安 定条件は除く	45度線図を用いて国民所得の決定の理論を学ぶ。ただし、第2章においては、政府部門を除いて議論し、最も基礎となる部分を学ぶ。 1. 有効需要の原理 2. 消費関数、消費需要の決定 3. 投資需要の決定 4. 総需要関数 5. 45度線図の理論 6. 数値例
第2章国民所得の 決定 §2.2 貯蓄－投資 曲線図の理論 た だし、(5) 均衡 化メカニズムと (6) 安定条件は 除く	国民所得の決定理論である45度線図の理論を別角度から貯蓄－投資曲線図を用いて学ぶ。 1. 貯蓄曲線 2. 生産物市場均衡条件の別表現 3. 貯蓄－投資曲線図の理論 4. 45度線図と貯蓄－投資曲線図の対応 5. 数値例

学習範囲 該当する章など	学習内容
第2章国民所得の決定 §2.3 投資乗数理論	1. 投資乗数の定義 2. 投資乗数の導出① 3. 投資乗数の導出② 4. 投資乗数の導出③ 5. 数値例 6. 投資乗数が1より大きくなる理由について学ぶ。
第1章、第2章	※メディア授業の理解確認のため 小テストを実施 国民所得の定義 45度線図の理論 貯蓄－投資曲線図理論 投資乗数 準備としては、数値例に基づき、計算練習をしておくこと。
第1章、第2章	メディア授業の理解確認のために第6回授業にて行う小テストについて解説する。 具体的には、以下の内容を復習する。 国民所得の定義 45度線図の理論 貯蓄－投資曲線図理論 投資乗数 加えて、デフレギャップとインフレギャップについて解説する。
第3章国民所得の決定 §3.1 財政を導入したモデル	第2章で学んだ内容に財政を導入したモデルを扱う。従って、DVDによる学習がきちんと出来ていない学生は、面接授業は全くついていけないのでDVD学習をしっかりとっておくこと。また、第1課題をスクーリング前に仕上げておくことが望ましい。 財政を導入したケースで 1. 45度線図の理論 2. $S+T=I+G$ 理論 3. 財政乗数 4. 減税の効果 について学ぶ。
第4章生産物市場の均衡 §4.3 IS曲線	利率の減少関数としての投資関数を導入し、政府部門を除いて 1. 生産物市場の均衡 2. IS曲線の考え方および導出 3. 生産物市場における不均衡からの調節 4. IS曲線が右下がりになる理由 5. IS曲線のシフト について学ぶ。
第4章生産物市場の均衡 §4.4 財政を導入したIS曲線	第8回と第9回の内容を合わせた内容となる。 1. 財政を導入したモデルにおける生産物市場の均衡 2. 財政を導入したモデルにおけるIS曲線の考えたとその導出 3. 財政を導入したモデルにおけるIS曲線のシフト について学ぶ。
第5章貨幣市場の均衡 §5.3貨幣に対する需要	§5.2貨幣供給については、中央銀行（日本銀行）によって貨幣供給量は決定されるとだけ述べる。 §5.3貨幣に対する需要 1. 流動性選好 2. 貨幣保有の動機 3. 貨幣需要関数 について学ぶ。
第5章貨幣市場の均衡 §5.4 LM曲線	1. 貨幣市場の均衡 2. LM曲線の考え方および導出 3. 貨幣市場における不均衡からの調節 4. LM曲線が右上がりになる理由 5. LM曲線のシフト について学ぶ。
第6章生産物市場と貨幣市場の同時均衡 §6.1 IS-LM体系、IS-LM曲線図	1. IS-LM体系 2. IS-LM曲線図 3. 数値例 について学ぶ。

学習範囲 該当する章など	学習内容
第6章生産物市場 と貨幣市場の同 時 均衡 §6.2政策効果の分 析	1. 金融政策の効果 2. 財政政策の効果 について学ぶ。
第2章国民所得の 決定 §2.1 45度線図 の理論	45度線図を用いて国民所得の決定の理論を学ぶ。ただし、第2章においては、政府部門を除いて議論し、最も基礎となる部分を理解する。 1. 有効需要の原理 2. 消費関数、消費需要の決定 3. 投資需要の決定 4. 総需要関数 5. 45度線図の理論
第2章国民所得の 決定 §2.1 45度線図 の理論	45度線図を用いて国民所得の決定の理論を学ぶ。ただし、第2章においては、政府部門を除いて議論し、最も基礎となる部分を理解する。 7. 均衡化メカニズム 8. 均衡国民所得の安定条件
第2章国民所得の 決定 §2.1 45度線図 の理論	45度線図を用いて国民所得の決定の理論を学ぶ。ただし、第2章においては、政府部門を除いて議論し、最も基礎となる部分を理解する。 9. 数値例
第2章国民所得の 決定 §2.3乗数理論	まず、投資乗数の理論、考え方、定義を理解し、次に45度線図、均衡国民所得の公式、貯蓄・投資曲線図から導く。そして数値例を用いて確認する。
第2章国民所得の 決定 §2.3乗数理論と 学習指導書第4節 (4)無限等比級 数	なぜ、投資乗数が1より大きくなるか、式の展開だけでなく、言葉で経済学的に説明できるようにする。ここは重要なポイントである。 本文と共に巻末の学習指導書第4節(4)の無限等比級数を理解すること。
レポート作成	レポートのアウトラインを考え、まず1度原案を作成する。
レポート作成	レポートの原案を少なくとも2～3回は推敲・書き直しをしてレポートを完成させる。
第5章貨幣市場の 均衡 §5.2貨幣供給	貨幣の機能と範囲を理解する。
第5章貨幣市場の 均衡 §5.2貨幣供給	ハイパワードマネーとマネーサプライの関係を理解する。
第5章貨幣市場の 均衡 §5.2貨幣供給	金融政策の手段を理解する。
第5章貨幣市場の 均衡 §5.3貨幣に対する 需要	貨幣保有の動機を理解する。
第5章貨幣市場の 均衡 §5.3貨幣に対する 需要	債券価格と利率の関係を理解する。
第4章§4. 1 (1) (2)	割引現在価値、資本価値の考え方を理解する。
レポート作成	レポートのアウトラインを考え、まず1度原案を作成する。
レポート作成	レポートの原案を少なくとも2～3回は推敲・書き直しをしてレポートを完成させる。

■ ディスカッション・ペアワーク

ディスカッション・ペアワークを行う場合があります。

■ DVDに関する内容理解の確認方法

面接授業1回目に小テストがあります。

■ 学習方法・評価

種別	評価基準
試験	マクロ経済学の基礎知識を問う。
レポート	国民所得決定モデルの基本形や投資乗数理論等、ケインズ理論の基礎的概念についての理解度。 数式と図解を用いた文章説明の完成度。 数式の正確な理解。 図解の正確な理解。 これらを総合して評価する。

■ 評価方法

○スクーリング試験：70%

○レポート：30%

■ 教科書

書名：理論経済学 I

著者名：小林孝次

出版社名：創大出版会

出版年：平13.3

版：新訂版

刷：

ISBN：978-4-86302-020-7

■ 参考書

・教科書の末尾を参照してください。
テキストではありませんが、日本経済新聞も読んでください。

■ 履修上のアドバイス

科目の性質上、内容が各章ごと積み上げられていきます。たとえば、第2章を理解した上で第3章、そして第2章第3章理解した上で第4章が理解できるというようになっています。しっかり学習した暁には、体系だって理解できるようになっています。したがって、スクーリング前のDVDによる学習が非常に重要です。またスクーリング前に第1課題は終了しておくようにしてください。頑張りましょう。

■ 自習時間

スクーリング前にDVDで少なくとも10時間、加えて第6回目すなわちスクーリング第1回目に行われる小テストの準備をしっかりとってください。レポート作成には毎回の項目につき、最低でも2時間の勉強はしてください。

■ 担当者のプロフィール

坂本幹雄：本学経済学部5期卒業

小林孝次：本学経済学部7期卒業